

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第7週（2月13日～2月19日）

★ お知らせ

○インフルエンザ、まだまだ注意して！

定点医療機関からの報告が県全体で定点当たり前週 36.44 から 22.00 に減少したが、まだ注意報値(10.00)を超している。県内のインフルエンザ迅速検査の報告では、A型が主流だがB型の報告が増加している。他県ではB型の報告が約半数を占めているところもあり、今後も注意が必要である。

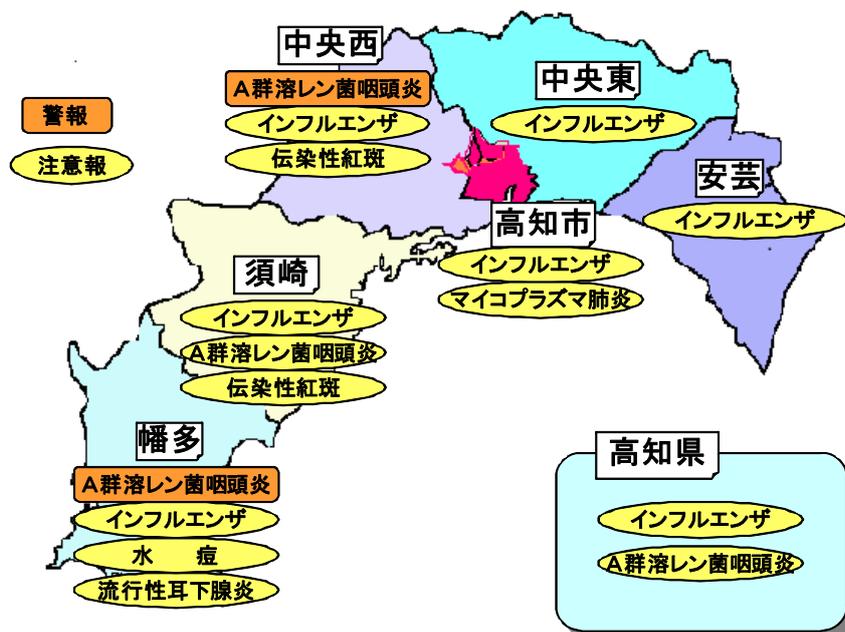
引き続き手洗いやうがいの励行とともに、咳エチケットを心がける必要がある。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	22.00	全ての保健所で減少し、注意報値となる。B型が増加しており、今後の動向に注意が必要。
感染性胃腸炎	→	5.63	中央西は減少した。安芸、中央東、須崎、幡多で増加となる。流行のシーズンなので注意が必要。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	2.47	中央西、須崎、幡多で増加となる。中央西、幡多は警報値となる。流行のシーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症	→	1.80	安芸、中央東、高知市、中央西で増加となる。幡多は減少したが定点当たりの値は一番高い。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘	↘	0.80	幡多で増加し、注意報値となる。流行のシーズンなので注意が必要。

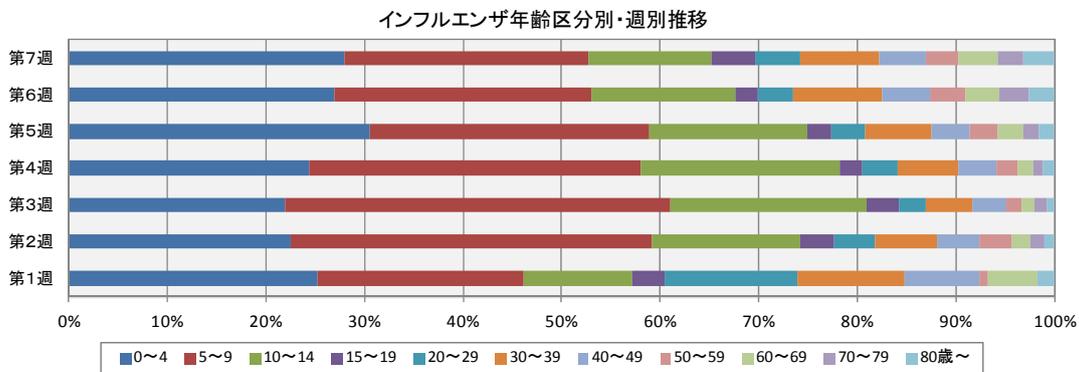
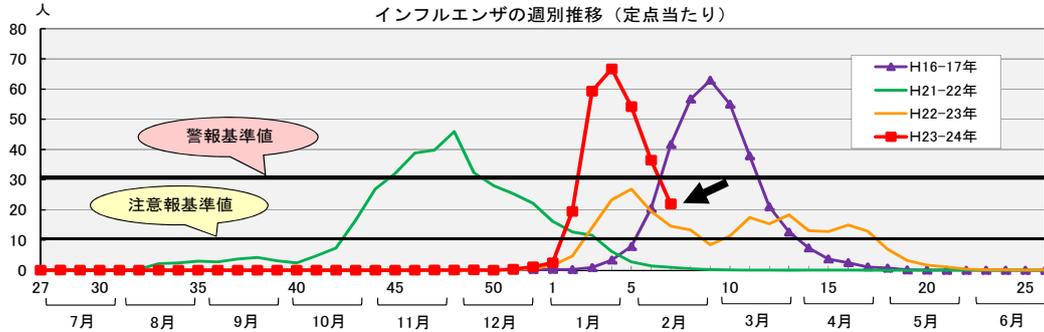
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

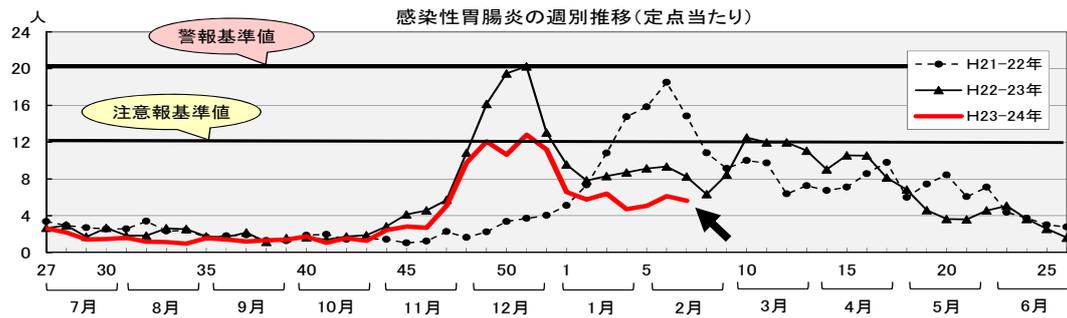
○インフルエンザ：22.00（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 22.00 と前週の 36.44 より減少した。安芸 15.75、中央東 15.09、高知市 25.31、中央西 29.60、須崎 23.75、幡多 23.38 と全ての保健所で減少し注意報値となる。第1～7週の年齢区分で占める割合は5～9歳 32.1%、0～4歳 25.7%、10～14歳 17.3%であった。



○感染性胃腸炎：5.63（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 5.63 と前週の 6.13 より減少した。中央西は約 1/2 に減少し注意報値を下回った。安芸、須崎、幡多は約 2 倍増加し中央東も増加した。安芸は定点当たり 9.50 と高い値なので注意が必要である。また、病原体定点から第7週に搬入された検体からノロウイルス1件、ロタウイルス2件が検出された。



病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	地域	ウイルス、細菌の検出状況	検出日
7	感染性胃腸炎	1	男	高知市	Norovirus GII NT	2/17
7	感染性胃腸炎	3	女	高知市	Rotavirus group A NT	2/15
7	感染性胃腸炎	3	女	高知市	Rotavirus group A NT	2/15
7	百日咳	5	女	高知市	Bordetella pertussis	2/16
7	マイコプラズマ	11	男	高知市	Mycoplasma pneumoniae	2/16
7	マイコプラズマ	7	男	中央東	Mycoplasma pneumoniae	2/16

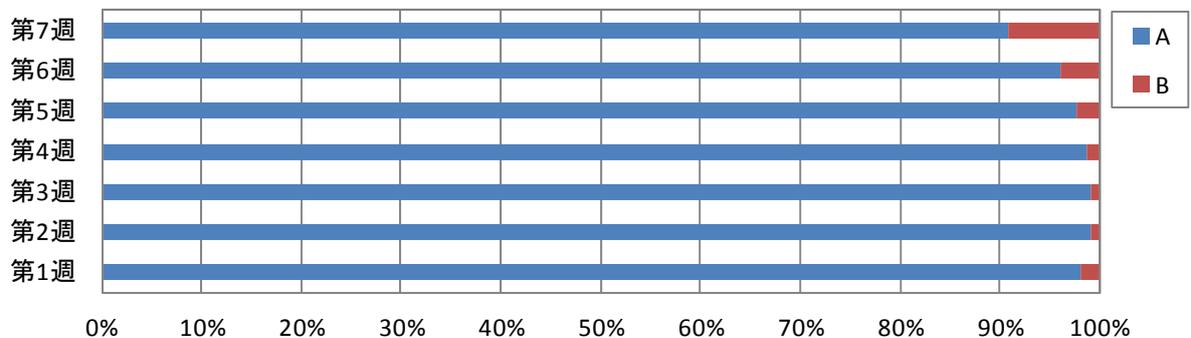
前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	地域	ウイルス、細菌の検出状況	検出日
4	—	4	男	中央東	Human herpes virus 6	2/16
4	—	1	男	中央東	Human herpes virus 6	2/16
47	細菌性肺炎	2ヶ月	男	高知市	Human herpes virus 7	2/16

★ インフルエンザ迅速検査結果

保健所	A	B	A+B
安芸	46	15	
中央東	144	18	
高知市	321	43	
中央西	143	4	
須崎	84	8	
幡多	165	2	
計	903	90	

インフルエンザ迅速検査結果推移(高知県)



★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	11	18	80歳代(男)	中央東
				30歳代(女)、70歳代(男)	高知市
				30歳代(女)	中央西
				90歳代(男)	須崎
				0~4歳(女)、10歳代(男女)、30歳代(男女)、50歳代(女)	幡多

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	高知大学医学部付属病院小児科	ロタウイルス1例(3歳女)
	あけぼの小児クリニック	アデノウイルス咽頭炎2例(1、3歳)
高知市	細木病院小児科	ロタウイルス5例(1、2、3、4、6歳女) ノロウイルス1例(5歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症とインフルエンザAの同時感染1例(88歳男) マイコプラズマ肺炎1例(5歳男)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例(12歳女)
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎1例(10歳女)
中央西	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎2例(3歳男2名)
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎1例(1歳男)
幡多	さたけ小児科	マイコプラズマ感染症2例(5、9歳男)

★ 全国情報

第5週（1/30～2/5）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核398例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症15例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎1例、つつが虫病2例、デング熱1例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎3例、急性脳炎11例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、後天性免疫不全症候群11例（AIDS 1例、無症候7例、その他3例）、梅毒12例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん5例、麻しん10例
報告遅れ：E型肝炎3例、デング熱4例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症1例、急性脳炎14例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例

◆インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱（38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。

インフルエンザの主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている。感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生の徹底が重要であると考えられるが、たとえインフルエンザウイルスに感染しても、全く無症状の不顕性感染例や臨床的にはインフルエンザとは診断し難い軽症例が存在する。従って、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においてインフルエンザの集団発生をコントロールすることは困難であると思われる。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所（小児科定点約3,000、内科定点約2,000）のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は、2011年第42週以降増加が続いており、2012年第5週の定点当たり報告数は42.62（報告数209,974）となり、前週の定点当たり報告数（35.95）をさらに上回った。

都道府県別では福井県（64.41）、岩手県（58.98）、石川県（55.65）、宮崎県（55.36）、高知県（54.21）、山口県（51.64）、埼玉県（50.94）、千葉県（50.84）、静岡県（50.83）、神奈川県（48.86）の順となっている。36都道府県で前週より増加がみられており、27の都道府県で40.00を、9県で50.00を上回った。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約211万人（95%信頼区間：194～229万人）（暫定値）と前週の推計値（約173万人）よりも増加しており、年齢群別では5～9歳約57万人（27.0%）、10～14歳約37万人（17.5%）、0～4歳約32万人（15.2%）、30代約22万人（10.4%）、40代、60歳以上は共に約16万人（7.6%）の順となっている。

また、2011年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は609万人（95%信頼区間：585～633万人）（暫定値）であった。

2011年第36週～2012年第5週に国内では2,022検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が6件（0.3%）、AH3亜型（A香港型）1,788件（88.4%）、B型228件（11.3%）とAH3亜型が大半を占めている状態に変わりはないものの、B型の割合がやや増加してきている。一部の県では報告数の減少がみられてきているものの、北海道、東北、関東、九州の各地域ではまだ比較的大きな増加を示しているところが少なくない。今後ともインフルエンザの発生動向に対しては注意深い観察が必要である。

咳エチケットを守りましょう！

- 咳やくしゃみなどの呼吸症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
 - 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
 - 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
 - 咳やくしゃみをした後は、石けんを使用して、よく手を洗いましょう。
-

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第7週 平成24年2月13日(月)～平成24年2月19日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(6週)	高知県(7週末累計)		全国(6週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/2/19	H24/1/2～H24/2/12		
インフルエンザ	インフルエンザ	63	166	405	148	95	179	1,056 (22.00)	1,749 (36.44)	198,910 (40.34)	12,511 (260.65)	754,329 (153.16)		
小児科	咽頭結核熱				9			9 (0.30)	2 (0.07)	636 (0.20)	17 (0.57)	4,388 (1.40)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	5	10	17	6	33	74 (2.47)	50 (1.67)	6,255 (1.99)	331 (11.03)	34,557 (11.01)		
	感染性胃腸炎	19	32	66	20	12	20	169 (5.63)	184 (6.13)	22,185 (7.06)	1,208 (40.27)	165,088 (52.59)		
	水痘		1	10	2	1	10	24 (0.80)	36 (1.20)	4,312 (1.37)	260 (8.67)	33,957 (10.82)		
	手足口病							()	1 (0.03)	399 (0.13)	9 (0.30)	3,201 (1.02)		
	伝染性紅斑			7	4	2	1	14 (0.47)	14 (0.47)	496 (0.16)	155 (5.17)	4,304 (1.37)		
	突発性発疹		2	3	2	1	5	13 (0.43)	9 (0.30)	1,269 (0.40)	76 (2.53)	8,782 (2.80)		
	百日咳			3				3 (0.10)	4 (0.13)	53 (0.02)	12 (0.40)	320 (0.10)		
	ヘルパンギーナ						1	1 (0.03)	2 (0.07)	49 (0.02)	8 (0.27)	317 (0.10)		
	流行性耳下腺炎		6	5			5	16 (0.53)	16 (0.53)	1,239 (0.39)	162 (5.40)	10,186 (3.24)		
RSウイルス感染症	5	4	18	3	1	23	54 (1.80)	53 (1.77)	1,393 (0.44)	427 (14.23)	11,951 (3.81)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	13 (0.02)	()	49 (0.07)		
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	1 (0.33)	380 (0.56)	7 (2.33)	2,319 (3.43)		
基幹	細菌性髄膜炎			2				2 (0.29)	1 (0.14)	7 (0.02)	3 (0.43)	48 (0.10)		
	無菌性髄膜炎							()	1 (0.14)	15 (0.03)	1 (0.14)	79 (0.17)		
	マイコプラズマ肺炎			3				3 (0.43)	()	388 (0.84)	23 (3.29)	2,534 (5.46)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	13 (0.03)	()	72 (0.16)		
計 (小児科定点当たり人数)	90 (29.25)	216 (22.23)	534 (36.40)	205 (48.61)	118 (35.25)	277 (41.98)	1,440 (34.56)			238,012	15,210 (349.49)	1,036,481		
前週 (小児科定点当たり人数)	112 (32.00)	424 (41.25)	790 (53.67)	291 (66.19)	130 (36.25)	376 (52.25)		2,123 (48.81)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(6週)	高知県(7週末累計)		全国(6週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/2/19	H24/1/2～H24/2/12		
インフルエンザ	インフルエンザ	15.75	15.09	25.31	29.60	23.75	22.38	22.00	36.44	40.34	260.65	153.16		
小児科	咽頭結核熱				3.00			0.30	0.07	0.20	0.57	1.40		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	0.71	0.91	5.67	3.00	6.60	2.47	1.67	1.99	11.03	11.01		
	感染性胃腸炎	9.50	4.57	6.00	6.67	6.00	4.00	5.63	6.13	7.06	40.27	52.59		
	水痘		0.14	0.91	0.67	0.50	2.00	0.80	1.20	1.37	8.67	10.82		
	手足口病							()	0.03	0.13	0.30	1.02		
	伝染性紅斑			0.64	1.33	1.00	0.20	0.47	0.47	0.16	5.17	1.37		
	突発性発疹		0.29	0.27	0.67	0.50	1.00	0.43	0.30	0.40	2.53	2.80		
	百日咳			0.27				0.10	0.13	0.02	0.40	0.10		
	ヘルパンギーナ						0.20	0.03	0.07	0.02	0.27	0.10		
	流行性耳下腺炎		0.86	0.45			1.00	0.53	0.53	0.39	5.40	3.24		
RSウイルス感染症	2.50	0.57	1.64	1.00	0.50	4.60	1.80	1.77	0.44	14.23	3.81			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	0.02	()	0.07		
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.33	0.56	2.33	3.43		
基幹	細菌性髄膜炎			0.40				0.29	0.14	0.02	0.43	0.10		
	無菌性髄膜炎							()	0.14	0.03	0.14	0.17		
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.43	()	0.84	3.29	5.46		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	0.03	()	0.16		
計 (小児科定点当たり人数)	29.25	22.23	36.40	48.61	35.25	41.98	34.56			349.49				
前週 (小児科定点当たり人数)	32.00	41.25	53.67	66.19	36.25	52.25		48.81						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869